

# 府中市立図書館サービス検討会議

## 報告書（第二期）

（平成26年4月1日～平成28年3月31日）

## 府中市立図書館サービス検討会議第二期報告にあたって

日ごろより、府中市立図書館のご利用及び運営につきまして、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

府中市立図書館サービス検討会議は、サービスの向上、利用者の増加・満足度の向上を願って、市民、学識経験者、教育関係者の皆様から、さまざまな課題に対するさまざまな意見を頂戴し、それをサービスに活かすためのものがございます。第二期でも、大変活発に熱いご意見をいただいた会議でございました。

平成19年12月1日に、新たな中央図書館が開館してから8年が過ぎ、私たち職員は、日々のサービスをこなすだけになっていたのではないかと、日常いただいているご意見等にお応えできているのか、と思っております。そのような考えに対し、栗田博之会長をはじめとする委員の皆様は、日ごろ思っていることを、当館ができること目指すべきことなど、市民と同じ目線で、厳しくも熱心なご意見をくださり、それは、エールであると感じました。それに応え、サービスの向上を図らなければなりません。

今回で、退任なさる委員の皆様には感謝するとともに、この2年間に頂戴いたしましたご意見を活かしていくこと、そして、そのことが利用者の皆様の満足につながると確信し、今後もまい進してまいりたいと存じます。

平成28年3月31日

府中市立図書館長 坪井 茂美

府中市立図書館サービス検討会議 運営報告一覧

平成26年度

開催回	開催日	出席委員	傍聴者	議題	意見等
第1回	平成26年7月1日(火) 午前10時から12時	栗田博之委員 野見山敏雄委員 小島茂委員 北谷豪委員 茅原幸子委員 高橋博子委員 大石千鶴委員 渡辺信子委員	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介</li> <li>サービス検討協議会概要について</li> <li>中央図書館館内案内</li> <li>平成25年度府中市立図書館事業概要の報告</li> </ul>	<p>【平成25年度府中市立図書館事業概要の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>府中市も武蔵野プレイスのような施設になってほしい。</li> <li>若年層に時間がないので、駅など通りがかりに返却できるとよい。市政情報センターにブックポストは置けないのか。</li> <li>コンビニで返却ができれば図書館のPRにも繋がる。インターネットが普及している今、もう一歩踏み込んで欲しいと思う。</li> <li>新刊本や特定の本に限定して、市民から本を寄贈してもらえればお金をかけずに蔵書数を増やすことができ、回転数をあげることに貢献できるのではないのか。</li> <li>出版社から寄贈を依頼してはどうか。</li> <li>電子書籍は度々話に挙がるが、新刊の寄贈と併せて考えていく必要がある。</li> </ul>
第2回	平成26年10月15日(水) 午前10時から11時半	栗田博之委員 野見山敏雄委員 小島茂委員 茅原幸子委員 高橋博子委員 大石千鶴委員 渡辺信子委員	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストアにおける貸出返却サービスについて</li> </ul>	<p>【コンビニエンスストアにおける貸出返却サービスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算がつけば当然やった方がよい。サービス導入の準備が必要で、図書館で必要な費用の積算やコンビニエンスストアとの打合せが必要だ。予算がつかずほかの事業を削る時は、慎重に議論する必要があると思う。</li> <li>駅前に返却ポストがあればよいのではないのか。</li> <li>市の他の施設との連携を考えて欲しい。コンビニエンスストアへの打診と同時に地域体育館など市の他の施設にも同様の声かけをしてほしい。それにより、別の機能を持たせることで活性化し、利用が増え、広い目で見れば市の負担が減るのではないのか。</li> <li>アンケートをとってコンビニエンスストアのサービスについて意見をきくとよい。</li> <li>費用が問題であれば、利用者に負担してもらってはどうか。</li> <li>人間の利便性向上への追求は限り無く、制限をかける必要がある。同じ費用をかけるなら個人的には蔵書数の増加に費用をかけたほうがよい。貸出などをコンビニエンスストアですると手間とコストがかかる。料金徴収を行うと尚更だと思う。</li> <li>図書館にとって予算に見合ったサービスなのか、図書館の生命線の蔵書を削ってまで追加すべきサービスなのか検討が必要。</li> <li>貸出業務がコンビニエンスストアのサービスで軽減されるのであれば、その部分の予算を減らして夜間対応可能なコンビニエンスストアのサービスを導入するとよい。</li> <li>地区館の開館時間延長の話があったそうだが、その要望を満たすという意味では地区館とコンビニエンスストアは重なってもよいのではないのか。</li> <li>意見を出している人のエリアがどこかわからないが、地区館が半径1kmにない場所で試験的にやってみて市民から意見をもらうのはどうか。</li> <li>コンビニエンスストアではなく、ファミリーレストランは利用できないか。</li> <li>北庁舎や市政情報センターに返却ポストをおいてはどうか。</li> <li>フレックスタイム制の運営を行い、開館時間を午前9時から午後5時と午前10時から午後6時など二種類で行ったり、平日を休館する代わりに祝日に開館したりしてはどうか。人件費を増やさずに全ての人を対象にサービスを実施することはできるのではないのか。</li> <li>コンビニエンスストアは貸出・返却のみなので、本を事前に決めておかなければならない。借りたい本が決まった人は便利だが、そのまま開館時間の延長の代替になるわけではない。</li> <li>コンビニから地区図書館までの資料の運搬を市民が行ってはどうか。</li> <li>コンビニエンスストアのことは考えず、図書館内のサービスを検討してはどうか。</li> </ul>

開催回	開催日	出席委員	傍聴者	議題	意見等
第3回	平成27年2月12日(木) 午前10時から11時半	栗田博之委員 野見山敏雄委員 小島茂委員 北谷豪委員 茅原幸子委員 高橋博子委員 大石千鶴委員 渡辺信子委員	なし	・新庁舎建設基本計画(案)における宮町図書館について	<p>【・新庁舎建設基本計画(案)における宮町図書館について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎内に図書館を置くのであれば、資料の受け渡し機能は持たせた方が良い。</li> <li>・土日開館してほしい。</li> <li>・中央図書館に次ぐ貸出し数の今の宮町図書館の機能を低下させると、市民サービスの低下につながる。図書館としての機能を維持しながらプラスアルファの機能をいれることを模索するべきではないかと思う。</li> <li>・図書館を限られたスペースに置くのではなく、今回の移転を契機に積極的な新しい試みをしたほうがよい。</li> <li>・カフェ・展示スペースや待合室とセットにするのはどうか。</li> <li>・今の利用者の声を尊重することも大事だが、多少の批判があっても新しい発想で行うことが大事だ。例えば武蔵野プレイスを例にして、雑誌専門の図書館も良いと思う。</li> <li>・蔵書を持たずに、予約コーナーの設置と相談に応じるコンシェルジュの配置をしてはどうか。</li> <li>・本を置けるスペースがあれば端末で調べてリクエストをして、今の地下書庫のような形で、帰りまでに本を用意してもらうというのもよいと考える。</li> <li>・駅の市政情報センターでは貸出・返却の機能ができるので駅を利用する方にはとても便利になるが、本を手にとって見ることはできない。そうであれば、近くで本を手にとれる場所を設けることは大事と思う。</li> <li>・セキュリティの問題上、全部開架にするということは難しいので、本の管理と閲覧室のような二つの機能を別のフロアに振り分ける方法もある。飲食しながら本を眺める場所を作るという考えもある。その場合、汚れても構わないものと貴重な本を分けて考えれば、自由度は高まるのではないかと思う。</li> <li>・図書館がカフェと併設だとお金がないヤングアダルトの人たちを追い出すことになってしまう。</li> <li>・新しく図書館を利用する人を増やしたいのか、今図書館を使っている人を大切にしたいのかということが大事だと思う。本は手に取れるとありがたい。</li> <li>・中央図書館や地区図書館に行ってみようと思わせる誘導ができればよいのではないか。</li> <li>・今の宮町図書館の機能を維持しつつ、可能であればヤングアダルト機能を設けてほしい。特に若年層が図書館に行くきっかけの場所となってほしい。</li> <li>・今府中市では中高生の居場所が不足しているので、その子達の居場所となれるような図書館作りを模索して欲しい。</li> <li>・図書館の機能はそのまま残して専門書のみを置く場所をつくっているのが望ましい。</li> <li>・開架の蔵書にはこだわらない方法を模索すべきだと思う。検索機の設置と新刊本の映像資料を流すのはどうか。コミュニティスペースを少しでも広くとって多機能をもたせて、そのなかで書架を置くスペースがあれば検討してもよいが、中途半端な蔵書は必要ないのではと思う。機械に頼る時代がきたという風に考えたほうがいい。私の考えでは蔵書は置かず、基本的に全てリクエストで対応する。新たな特色を出すことを考えるのであれば、所蔵にこだわらず、リクエストで対応し、あとはスペースとしての有効活用を考えて、雑誌と新聞に特化して使っていただくといいのではと思う。</li> <li>・図書館内のカフェスペースの話が毎回出るが、賑わいのある地区で市役所内にカフェが本当に必要なのか考える必要がある。他のスペースを利用していくという考えもあっていいのではないだろうか。むしろ、オープンにして自販機を置いたほうが現実的ではないか。</li> <li>・図書館内での飲食を許可するかどうか問題だ。汚しても構わないものだけ置くなどの工夫をすれば、より自由な発想が可能だろう。しかし、やはりカフェありきの発想をせずに、図書館を自由度の高い空間にする方向に進めたほうがよいのではないかと思う。飲食がひとつのネックになると個人的には思う。</li> </ul>

開催回	開催日	出席委員	傍聴者	議題	意見等
第1回	平成27年6月25日(木) 午後2時から3時半	栗田博之委員 夏目雅裕委員 小島茂委員 茅原幸子委員 高橋博子委員 大石千鶴委員 渡辺信子委員	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市立図書館サービス検討会議の要綱改正について</li> <li>・平成26年度府中市立図書館事業概要の報告</li> <li>・宮町図書館アンケート結果報告</li> </ul>	<p>【平成26年度府中市立図書館事業概要の報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館での小学生向け社会科見学実施と同様に、地区図書館でも小学生への図書館利用案内を実施してはどうか。学校に近い図書館を見学したり、利用案内を受けることで、そこにいる職員の顔を知り、子どもだけの図書館利用も増えるのではないかと。子どもが図書館に親しむきっかけとなる。</li> <li>・地区図書館は、文化センターも含めて、地域の子どもや中高生の居場所のひとつとなるので、子どもがもっと使いやすいように考えるべきではないか。声を出しても良い施設の設置など。年齢が上になるとおはなし会への参加が減るので、おはなし会に入りやすい雰囲気を作る。</li> <li>・もっと学校の先生に向けて図書利用のアプローチをしていくと良いのではないかと。</li> <li>・地区館にも中央のようなYAコーナーがあると良い。</li> <li>・昔行っていたような読書会のようなものをやると、人が集まるのではと思う。</li> <li>・利用者が減っているが、どこかで下げ止まりするのではと思っており、そんなに心配しなくても良いように感じる。</li> <li>・リクエストの件数が増えていると身近で感じる。</li> <li>・コンビニエンスストアでの貸出についてのその後の進捗状況について→今後の課題として、図書館以外の窓口での貸出・返却の検討をしていく。</li> <li>・2週間の貸出期間は、人によって長くも短くもある。それが駅などの近くで返却貸出ができるようになるとローテーションが短くなる。</li> <li>・関連図書をリンクつけて紹介をするなどのサービスも考えられる。</li> <li>・中央図書館の3階の特集コーナーはとても良い。</li> <li>・市のイベントと特集展示が連動しているのを見てとても良いと思った。</li> <li>・雑誌スポンサー制度も良いとは思いますが、府中市のHPも広告のバナーがとても目立ち、本末転倒になっているのではと危惧する。他の本もスポンサーに買ってもらえばよいのではという話になりかねない。</li> <li>・昨年度、府教研図書館部教師に対する図書館職員によるブックトーク研修会実施は評判が良かった。参考になるので今後も連携していきたい。</li> </ul> <p>【宮町図書館アンケート結果報告(新市庁舎に設置する図書館に関するアンケート)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計の前に図書館から意見をだすことは考えていないのか。</li> <li>・宮町図書館について利用者からとったアンケートの意見や職員からの意見、この会議で集めた意見を集約した形で庁舎建設担当に参考資料として提供する。</li> </ul>

開催回	開催日	出席委員	傍聴者	議題	意見等
第2回	平成27年10月8日(木) 午後2時から3時半	栗田博之委員 夏目雅裕委員 北谷豪委員 茅原幸子委員 高橋博子委員 大石千鶴委員 渡辺信子委員	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区図書館の運営体制について</li> <li>・第3期府中市子ども読書活動推進計画中間アンケート実施報告</li> <li>・予約の取置き期間について</li> </ul>	<p>【地区図書館の運営体制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度第2回図書館サービス検討協議会で同じ議題で検討した。以前は「現行の府中市の各地区図書館に関しては、指定管理者導入の必要性は感じられない。」ということで意見集約。その時は文化センターでも指定管理者制度の是非を検討中であったため、地区図書館の複合施設である文化センターの結論が出てから再度検討することになっていた。→「文化センターあり方検討協議会検討結果報告書」より文化センターは指定管理に向かないという内容。</li> <li>・文化センターは、人と人とのふれあいの場所である。</li> <li>・現行の地区館の運営費と中央図書館でPFIをしている業者の参考見積りで比較すると、少なくとも2倍以上指定管理の方がかかる。</li> <li>・指定管理のメリットとしては、民間業者のノウハウを導入することによるサービスの向上、開館時間の延長や柔軟な予算執行によるフレキシブルな現場対応などが考えられる。</li> <li>・文化センターは地域の子もたちが過ごしている場所で、文化センター、地区図書館に市の職員がいるという安心感がある。</li> <li>・貸出総数は総じて減少傾向であり、これは指定管理者制度を導入した立川市の地区図書館も同様である。このことから、指定管理者導入がすなわち貸出総数の増加につながるわけではない。</li> <li>・時間延長という毎日実施をするイメージが強いが、はたして時間延長を毎日する必要があるのか。</li> <li>・大企業はノー残業デーが週1日あるので、そういう日に時間延長して開館するのはどうか。</li> <li>・サービスの向上は予算を措置してでもやってほしいのが本音だが、必ずしも指定管理者制度がその解決策にはなり得ない。</li> </ul> <p>【第3期府中市子ども読書活動推進計画中間アンケート実施報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進活動を行ったおかげで同じレベルの水準が維持できているのではないかと思う。</li> <li>・本の楽しさを届けたいという、図書館が養成するボランティアや小学校の保護者や地域の方による読み聞かせ活動が実を結んでいるのではないか。</li> <li>・おはなし会をYouTubeで流すことはできないのか。おはなし会の様子として広告のようにHPIにのせて、PRするのはどうか。図書館が主体となってそういった試みをして良いのではないかと思う。</li> <li>・広報ふちゅうにもっと図書館の情報を載せられないか。</li> </ul> <p>【予約の取置き期間について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約の取置き期間は現在10日間→短くすることを検討。短くすると、予約本を待つ期間が短くなり、本のまわりが早くなる。</li> <li>・10日間は長いと思っていた。リクエストした場合はすぐほしいことが多いので1週間程度で妥当。</li> <li>・前もって周知すれば、変更しても良いと思う。</li> </ul>

開催回	開催日	出席委員	傍聴者	議題	意見等
第3回	平成28年2月18日(木) 午前10時から12時	栗田博之委員 茅原幸子委員 大石千鶴委員 北谷豪委員 小島茂委員 高橋博子委員 夏目雅裕委員 渡辺信子委員	なし	・開館10周年に向けて ・利用サービスの見直しについて	<p>【開館10周年に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が招かれるのではなく、関係していくという形がいいと思う。特に、これから先、府中市をつくっていくであろう子ども達に、10周年を体験をさせるのはどうか。例えば、「絵本をつくろう」というイベントなど。</li> <li>・ボランティアの方々が加わる企画などがあった方がいいのではないか。</li> <li>・企画を市民から募っても良い。ネットでアイデアを募るのはどうか。</li> <li>・本屋大賞にならってルミエール大賞を作り、好きな本を投票するのはどうか。</li> <li>・イベントを行う日の前後1週間で10周年期間とし、あまり手のかからないことをその2週間の期間に行う。</li> <li>・特に目立つように、ポスターにはお金をかけてもらいたい。きちんとしたデザインで良いものを作ってもらいたい。</li> <li>・広報ふちゅうの使い方をうまく考えるといいのではないか。</li> <li>・子どもが行きそうな場所やお店にポスターを掲示してもらうのはどうか。小中学校の全生徒に配付することはできる。</li> <li>・イベントが決まった時に、積極的に企業に声かけして、タイアップを考えてもいいのではないか。企業も社会貢献ということで実績になるので、協力を申し出ていいのではないか。お互いに利益がある。</li> <li>・準備期間が長くとれるので、府中市内の子供に読み聞かせを行っているボランティア団体を横のつながりをもってイベントで協働ができるとよい。</li> <li>・オリンピック、パラリンピックコーナーを作るのはどうか。</li> <li>・バックヤードツアーを行うのはどうか。</li> <li>・子どもが本を探すというイベントをゲーム形式でやるのはどうか。</li> <li>・児童室の飾りを、葉っぱ一枚でもいいので、小さい子どもに作ってもらう。</li> <li>・点字体験や過去の教科書を振り返る企画。</li> <li>・記念行事の時だけ、お酒を飲みながらお酒の本を読む、スイーツを食べながらスイーツの本を読むというのはどうか。</li> <li>・レストランに協力いただき、カクテルを味わいながら本を読める空間を作る。</li> <li>・PRの方法と行事を支えるボランティアについて考えることが大切。</li> <li>・企画段階から関われるボランティアがいいと思う。アイデアを出す立場がよい。</li> <li>・本のリサイクルを行うのはどうか。</li> <li>・ボランティアや企業とのタイアップを考えていく。ボランティアの募集も早めに開始し、広報体制をしっかり作る必要がある。</li> </ul> <p>【利用サービスの見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京農工大学図書館との連携開始についての説明。</li> <li>・団体貸出サービスの貸出冊数の増加(300冊から350冊)についての説明。</li> <li>・第3期府中市子ども読書活動推進計画の中間アンケート集計結果についての報告。</li> </ul>

## 府中市立図書館サービス検討会議要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、府中市立図書館のサービス向上を目的とし、府中市立図書館に関心のある者で構成し、利用者の拡大を含め、利用者へのサービス提供のあり方について、広く意見を聴取し検討する会議（以下「会議」という。）の運営について定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 会議は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 利用者の拡大に関する事項
- (2) 利用者へのサービス提供のあり方に関する事項
- (3) その他サービス向上につながる事項に関する事項

(委員)

第3条 会議の委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が依頼する。

- (1) 公募による市民 2名以内
- (2) 学識経験者 2名以内
- (3) 学校教育関係者 1名以内
- (4) 社会教育関係者 1名以内
- (5) 家庭教育の向上に資する活動を行う者 2名以内

(議長及び副議長)

第4条 会議に議長及び副議長を置く。

- 2 議長及び副議長は、委員の互選により定める。
- 3 議長は、会議を進行する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるときは、その職務を代行する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年間とする。

(会議)

第6条 会議は、教育委員会が招集する。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、文化スポーツ部図書館において処理する。

(委任)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会議の運営に必要な事項は、別に定める。

付 則

この要綱は、平成23年6月21日から施行する。

付 則

この要綱は、平成27年5月27日から施行する。



府中市立図書館サービス検討会議委員名簿

	分 野	氏 名	期 間
1	有識者	ク 栗 田 博 之 タ ヒロ ユキ	平成26年4月1日～平成28年3月31日
2-1	有識者	ノ ミ ヤマ トシ オ 野見山 敏 雄	平成26年4月1日～平成27年3月31日
2-2	有識者	ナ ツ メ マサ ヒロ 夏 目 雅 裕	平成27年4月1日～平成28年3月31日
3	学校教育関係者	コ ジマ シゲル 小 島 茂	平成26年4月1日～平成28年3月31日
4	社会教育関係者	キ タ タニ コウ 北 谷 豪	平成26年4月1日～平成28年3月31日
5	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	チ ハラ ユキ コ子 茅 原 幸 子	平成26年4月1日～平成28年3月31日
6	家庭教育の向上に 資する活動を行う者	効 ハシ ヒロ コ子 高 橋 博 子	平成26年4月1日～平成28年3月31日
7	公募市民	オオ イシ チ ツル 大 石 千 鶴	平成26年4月1日～平成28年3月31日
8	公募市民	ワタ ナベ フ信 コ子 渡 辺 信 子	平成26年4月1日～平成28年3月31日

## 府中市立図書館サービス検討会議委員よりメッセージ

2期続けて府中市立図書館サービス検討会議の議長を務めさせて頂いた。大学図書館については色々と経験を重ねて来ていたが、公共の図書館の諸事情については必ずしも精通していたわけではないため、どこまで議長という大役を果たす事が出来るのか不安であった。しかしながら、市立図書館が抱える諸課題に対し、委員の方々が様々な立場・様々な観点から積極的に建設的な意見を述べて下さったおかげで、この会議は極めて生産的な議論の場となり、数々の有用な提言が生まれたように思う。図書館を取り巻く状況が刻々と変化する現代において、その将来像を描く事は極めて困難であるが、今後も図書館関係者と市民が力を合わせて市立図書館を盛り立て行き、誰にでも愛される図書館であり続けて欲しいと思う。今後は一サポーターとして府中市立図書館を応援して行くつもりである。

**栗田 博之 委員** (東京外国語大学大学院教授)

1年間、この会議に参加して、図書館が関わっている活動の多様さを知り、市立の図書館が果たすべき役割の多様性と対応の難しさを感じた。前者に関しては、改めて図書館のホームページを見てみると、様々な活動の予定や開催報告が載っていることに気づいた。しかし、ホームページは意識して見ないと情報が入ってこない。多くの方に利用してもらうには、日頃の生活の中で目に触れるような情報発信が重要であろう。後者について、図書館の存在意義は本が書架に並んでいるところにあるのではないだろうか。目的があつて本を探している場合でも、思いがけない本に目にとまることもある。このような経験が知識を広げ、豊かな人間性を育むと思う。小さいうちに図書館に親しんでもらう環境作りが最も大切だと思う。

**夏目 雅裕 委員** (東京農工大学教授)

子供から高齢者まで、障害のある人もない人も、市民が図書館に求めるニーズは、多様なものがあります。府中市立図書館サービス検討会議では、各委員よりその経験や立場から、多様な意見が出て、活発に議事が進められました。私は、学校教育の立場から、参加し意見を申し上げました。府中市の公立図書館が、時代に合わせ、その役割を効率的に発揮できるように、各委員が真剣に論議なさっていることに、敬意の念を持ちました。

予算に限りはありますが、今後とも府中市立図書館が、常に現状を把握して、改善の努力を継続し続けるようにお願いいたします。それが、市民の満足につながって行くと考えます。

**小島 茂 委員** (府中市立府中第一小学校長)

現在の図書の状況は紙書籍から電子書籍へという流れが少しずつ広まっております。新聞も電子版の普及がだいぶ進んでおり、図書館がどこまで電子化の対応をしていくのか過渡期にあると思います。紙書籍の良さと電子書籍の良さはそれぞれございますので、図書館のコンセプトとしっかり固めていただいて、対応いただけると良いのではないのでしょうか。

また、この府中に古くから残る伝統と文化を継承していくことができる資料はしっかりご保管いただき、近年増加する市民の皆様が府中を知る手がかりとなる存在となっていきたいと思っております。

2期にわたり委員を務めさせて頂きまして、どうもありがとうございました。

**北谷 豪 委員** (むさし府中商工会議所)

府中市の図書館資料は大変充実していると、近隣の市に住む友人はうらやましがります。委員を務めた4年半、府中市図書館と図書館一般の事をいろいろと学ばせていただきました。中央図書館の充実ぶりは群を抜いていますが、地区館も各所に配置されており、その地域の中核となる文化センター内の施設として、大きな可能性を秘めていると感じました。活発な意見が飛び交った会議では、将来を担う子どもたちに図書館がいかにかアピールするか、繰り返し話題になりました。地域住民の参加・市民協働という言葉が多く場で聞かれます。小学校などで読み聞かせのボランティアを続けられるのは、本と本好きな人たちに出会える図書館があってこそ。府中市の看板施設として図書館が進化しつづけることを期待し、そのサポーター役のサービス検討会議のますますのご発展を願っております。

#### 茅原 幸子 委員(学校図書館ボランティア)

二年間、お世話様になり有難うございました。

有識者の皆様のご意見、図書館の担当の皆様の努力を知る機会を得ましたことに感謝しております。とかく担当しているハンディのことに偏りがちでしたが、視野が広がりました。我が儘をもうして、あと一年参加させていただきます。今後も微力ながらお役にたてばと思っております。

#### 高橋 博子 委員(図書館ハンディキャップボランティア)

多くの市民にとって、図書館は心のよりどころとなっています。

この度、サービス検討会議委員として2年間会合に参加させて頂き、職員やボランティア、関係機関の方々のご尽力があってサービスを受けられることをあらためて認識し感謝すると共に、市民の声に耳を傾け、より一層のサービスを追求されている熱意に敬服しています。

読書活動推進計画などによって子ども達の教養基盤も根っこで支えて頂けることも、大きな安心感です。教育畑から選出された高野市長がリーダーである府中で、今後も心と教養がますます豊かになる環境が整い、図書館を通じて府中市民の交流が深まることを願ってやみません。

そのために私にできること、それは「関心を持ち続けること」だと今、思っています。

貴重で有意義な時間をありがとうございました。

#### 大石 千鶴 委員(公募委員)

本会は、座長の最後のご挨拶にもあったように、毎回発言も多く、大変活発な会であったと振り返っています。各所で地道なボランティア活動に携わっておられる方々とも交流できて有意義でした。議題は、返却ポストのコンビニとの提携から、将来新市庁舎内に設置が予定される図書館機能の理想的形に至るまで多岐に亘り、毎回活発な意見交換がなされました。しかし、市側の計画案、予算がほとんど白紙の状態での意見具申の難しさも感じました。委員の皆様から夢あるアイデアも多く出されただけに惜しい気もしています。今後、何らかの場面でそれらが生きることを信じます。しかし総じて、限られたスペースと予算の中で図書館の役割の重さを担い、少しでもその改善に日夜尽力されている関係者の皆様のご苦勞を再認識し、感謝の気持ちを新たにしました次第です。

#### 渡辺 信子 委員(公募委員)

## 府中市立図書館サービス検討会議を通じて

府中市立図書館サービス検討協議会は、図書館サービスの更なる向上を目的として、平成23年10月に第1回協議会から平成26年2月までに全8回を実施し、平成26年7月に第一期報告書をあげることができました。

その後、府中市立図書館サービス検討協議会は、利用者へのサービス提供のあり方について、より広く意見を聴取することができる会議とするために、平成27年5月に府中市立図書館サービス検討会議と名称を変更し、府中市立図書館のサービス向上を目的としたその他会議として、新たに役割を果たしていくこととなりました。

これにより、委員の方々の様々な視点から、これまで以上に率直で貴重なご意見を広くいただくことができました。

地区図書館の夜間開館実施検討に伴う指定管理者制度の導入については費用対効果を考慮して見送るべきという意見が多数出ました。

このたび第二期報告書を作成するにあたり、府中市立図書館のサービスの向上に少しでも貢献できたことを嬉しく思います。

現在の市民をとりまく環境は著しい速さで変化を遂げ、ライフスタイルの多様化に伴って図書館へのニーズも多様であることはいまでもありません。

今後も府中市立図書館が市民に寄り添った図書館であるよう期待しています。

平成28年3月31日

府中市立図書館サービス検討会議

議長 栗田博之

府中市立図書館サービス検討会議報告書（第二期）

発行日 平成28年 6月  
編集・発行 府中市文化スポーツ部図書館  
〒183-0055 東京都府中市府中町2-24  
電話 042-362-8647